

3. 生物多様性保全プロジェクト(キーナの森)

1. キーナの森について

- ・キーナの森は、隣接する「国営あいな里山公園（国営明石海峡公園神戸地区）とともに、神戸市における「生物多様性保全のシンボル拠点」として整備した公園（平成 29 年 7 月開園）。
- ・放置された里山に手を入れることで、希少種の保護を含めた豊かな生物多様性の保全・育成を行うとともに、環境学習や市民活動のフィールドとして活用している。

【概要】

- 位置：神戸市北区山田町藍那、西区押部谷町木津、木見
- 面積：64.5ha (広域公園)
- 特徴：
 - ・六甲山系、西神丘陵、郊外住宅地のそれぞれに近接する『結节点』に位置する。
 - ・かつては里山林として利用されていたが 1960 年代前後から利用されなくなった。
 - ・希少種を有する自然林や里山が広がる自然に恵まれた環境を形成している。

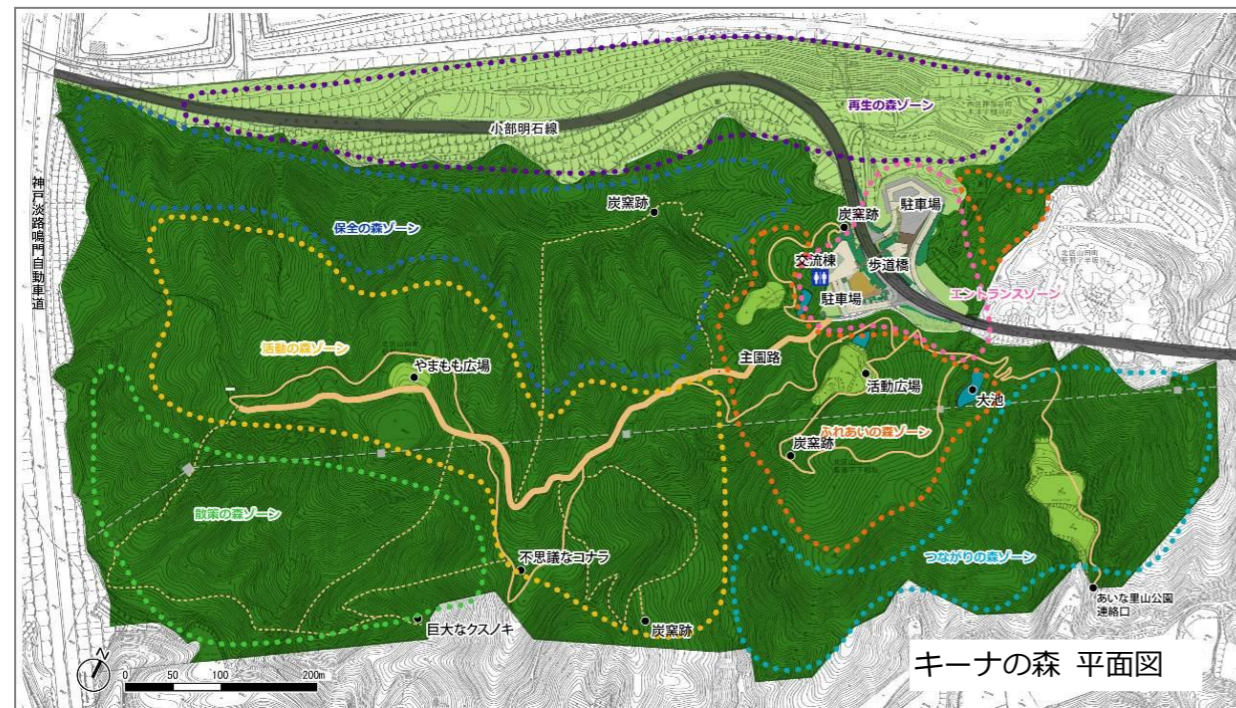
2. 公園の目標像 ~つながる公園~

「生きものの“つながり”を守る」
 「人と自然の“つながり”をつくる」
 「人・活動・場所の“つながり”をつくる」



【具体的な取り組み】

- ・自然や生き物との触れ合いを体験できるようなイベントの開催
- ・来園者自身がガイドマップ等で観察できるようなセルフプログラムの実施
- ・あいな里山公園やしあわせの村など、近隣施設との連携プログラムの実施



3. 令和 2 年度の主な取り組み

(1) イベント

- ・キーナの森の伐採木を活用したキノコづくりチャレンジや、隣接するあいな里山公園、しあわせの村との連携イベントなどを実施した。

令和 2 年 11 月 1 日~12 月 28 日 3 園連携スタンプラリー
 令和 2 年 11 月 1 日、7 日 グリーンウッドワークプログラム
 令和 2 年 11 月 28 日 3 園連携チャレンジウォーク
 令和 3 年 2 月 7 日 キノコづくりチャレンジ など

(2) もりかつ

- ・市民や N P O、学生等のボランティアによる里山保全活動を実施している。月に 1 回里山整備活動や整備方針のミーティング、研究活動等を行っている。

(活動内容) 道作り(支障木伐採、ササ刈り等)、草原づくり、水場づくり、ほだ木づくり、希少種保全、昆虫調査 など

(活動状況)



(もりかつ)

もりかつレポート 2020年 8月22日(日)
 天気: 晴れ 参加者: 16名

森の手入れの記録

- バッタと働く広場づくり
手も平らと森の手入れが楽しめる広場で、バッタやアゲハの幼虫が産卵しやすくなるように整備している。今年初めての活動である。この広場で見られる昆虫について紹介した解説板を設置しました。
- 実習体験の道づくり
人が歩かぬためにこの山を歩いていた経路である。道の脇、ササ刈り、土留めなど、土留めをした。道の脇の雑草を伐採し、道の中にもたまった土を敷き直しました。

自由活動の記録

- キーナの森での活動や研究の成果発表会
キーナの森での活動や研究の成果発表会。今回は、バッタやアゲハの幼虫の観察や、キノコづくりの発表などを行いました。

ミーティング

- 定例ミーティング
令和 2 年 8 月 22 日(日) 15:00~16:00

写真の掲載内容

9月13日(日)
 活動予定
 午前: バッタと働く広場づくり、交差点の整備など
 午後: 自由活動
 ※内容は変更になる可能性があります。お楽しみに。
 ※お天気に合わせて、バッチリと楽しみたい。

(3 園連携の取り組み)

